

# 勘助はどこ生まれ？

山本勘助の出生地と伝えられる場所は全国にいくつかありますが、その中でも豊橋市賀茂町と静岡県富士宮市が資料的にみて有力とされています。

## ① 三河国賀茂（豊橋市賀茂町）

<根拠> 「三州牛久保より出申候山本勘助先祖之覚」「牛久保密談記」<sup>かいこくし</sup>「甲斐国志」  
駿河出身で賀茂を領した山本<sup>ずしよ</sup>図書（牛久保密談記では藤七郎）の三男（甲斐国志では四男）として生まれたとされています。賀茂町には山本<sup>はるよし</sup>晴幸（勘助）生誕地の碑があり、近接する本願寺には勘助の父母のものと伝わる墓があります。また、同じく賀茂町にある<sup>てりやまじょう</sup>照山城は、勘助の出生地とされています。

## ② 駿河国富士郡山本村（静岡県富士宮市）

「吉野家祖先累代略歴」「甲斐国志」  
山本<sup>へんれき</sup>図書は諸国を遍歴して「山本浪人と称して三州牛窪に住」したが、後に駿河に帰った時に四男として生まれたのが勘助とされています。

## ③ 三州牛久保（豊川市牛久保）

「甲陽軍鑑」「山本勘助先祖之覚」  
甲陽軍鑑は出生地を牛久保としているが、裏づける資料は今のところありません。  
1514年（永正11）牛久保の牧野家の家臣大林勘左衛門貞次の養子となり、<sup>さだよし</sup>勘助貞幸と名乗ったことは確かなようです。

近年の研究では、今川氏の家臣として駿河に在住していた山本氏の分家が八名郡賀茂郡に所領を給されて来住したことが分かっています。しかし、勘助出生の時期と山本氏が来住した時期ははっきりせず、未だ勘助の出生地については不明のままです。

<参考> 豊川の人物誌展（桜ヶ丘ミュージアム）



豊橋市賀茂町の勘助生誕地碑

